

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管してく

● 絵表示の意味

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損傷を与えたりすることがあります。

- ☐ 「してはいけないことを示します。」
- ❗ 「しなければならぬこと」を示します。
- 🔧 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 📖 「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- ❗ 決められた充電器で充電してください。
専用器具以外を使用すると、充電電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
- ☐ 火災や感電等の原因となります。
充電器を分解改造しないでください。
- ☐ 液もれた場合は使用しないでください。
充電電池より液もれがあった場合は、液もれした充電電池は使用しないでください。充電器を発熱、破壊させても原因となります。

ニッケル水素電池についてのご注意

⚠ 危険

- ❗ 充電電池は当社製の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守ってください。
その他の充電器または条件で充電すると、充電電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
- ☐ 液もれた場合は使用しないでください。
充電電池より液もれがあった場合は、液もれした充電電池は使用しないでください。充電電池が発熱、破裂する危険があります。
- ☐ 充電電池のプラス極、マイナス極を逆にして使用しないでください。
発熱、液もれ、破裂するなどして危険です。
- ☐ 充電電池をショート（短絡）させないでください。
充電電池のプラス極とマイナス極を金属で接続しないでください。また、充電電池をニッケルズやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。充電電池がこれらの金属によりショート（短絡）し、過大な電流が流れ、充電電池が発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱するなどして危険です。
- ❗ 充電電池の異常に気づいたら使用を中止してください。
液もれ、変色、変形、その他やまと異なるものに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、充電電池が発熱、破裂するおそれがあります。
- ❗ 充電電池から漏れた液が液体や衣服に付いたら、きれいな水で洗い流してください。
充電電池の中の液が皮膚や衣服につくと、皮膚に傷をおこす原因となります。
- ❗ 充電電池の中の液が口に入ったら場合は失明の原因になることもあるので、必ずすぐに綺麗な水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- ☐ 充電電池は充電器を使用せずに電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口には直接接続しないでください。
感電したり、充電電池が発熱、液もれ、破裂するなどして危険です。
- ☐ 充電電池を密閉した器具に使用しないでください。
発生するガスにより機器を破壊させる原因となります。
- ☐ 充電電池を火中に投下したり、過熱しないでください。
発熱、破裂、発火することがあり、危険です。
- ☐ 充電電池を变形させたり、分解、改造しないでください。
内部で化学やけがを負ったり、危険を防ぐ機能ができなくなり、破裂、発熱、発火の原因となり危険です。
- ☐ 充電電池に直接ハンダ付けしないでください。
熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり危険です。
- ☐ 充電電池のガス抜き構造をふさがないでください。
ガス抜き構造をふさぐと、充電電池が破裂するおそれがあります。

⚠ 警告

- ☐ 充電電池を乳幼児のそばに放置しないでください。
0〜35℃以外のところは充電しないでください。
十分に充電できなかったり、充電電池の液もれや発熱、破裂の原因となります。
- ☐ 充電電池の上に重いものを乗せたり、落下しやすいところや磁気、ほこりの多い場所におかないでください。

- ☐ 外装チューブをはかさないでください。
充電電池の外装チューブがはかたり、キズをつけなくてください。充電電池がショート（短絡）状態になり、発熱、破裂する原因となります。外装チューブが壊れた場合は、使用を中止してください。
- ☐ 10個以上順列に接続しないでください。
充電電池が液もれ、発熱、破裂する原因となります。
- ❗ 充電器の定めたる充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
充電電池が液もれ、発熱、破裂する原因となります。
- ❗ 充電電池の充電方法については、充電器の取扱説明書をお読みください。
- ❗ 充電電池の充電量については、充電器の取扱説明書をお読みください。
- ☐ 異なる種類、銘柄の充電電池、フル充電の充電電池と、使用途中の充電電池を混ぜて使用しないでください。
異なる種類、銘柄の充電電池、フル充電の充電電池と、使用途中や未充電の充電電池を混ぜて使うと、発熱、液もれ、破裂を起こすことがあります。
- ❗ 長い間使用しない時は、充電電池を機器から取り出してください。
使用されている機器のスイッチを切っても機械の中での充電電池が少しくつづいていきま。液もれやサビの原因にもなりますので長期間使用しない場合は充電電池を取り出して、個別にケースに入れないで、ショート（短絡）しないように注意して保管してください。
- ☐ 充電電池に強い衝撃を加えないでください。
充電電池が変形して内部ショート（短絡）し、液もれ、発熱、破裂するおそれがあります。
- ☐ 充電電池を水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。
ショート（短絡）したり、さびの原因となります。また、発熱や発火、感電の原因となります。
- ❗ 充電電池をお買い上げ後、初めて使用の際にサビや発熱などの異常な点が感じられたら、使用せずお買い上げの販売店にご持参ください。
- ❗ 充電電池の端子が濡れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いて端子面をきれいにしてからご使用ください。
- ❗ 充電電池の製造品に（せもの）や改造品にご注意ください。
製造メーカー名や販売会社名などの表示や注意書きのない充電電池は製造品に（せもの）や改造品の疑いがあります。製造品に（せもの）や改造品の中には、危険防止のための安全機構が働かなくなり、かつたりのものがあります。破裂、発火したして危険ですので、購入是十分注意してください。
- ☐ 充電電池を並列に接続して使用しないでください。
発熱、液もれ、破裂を起こすことがあります。
- ☐ 充電電池の充電や放電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。
発熱、発火、破裂を起こすことがあります。
- ❗ 繰り返し使用において、充電電池の使用時間が著しく短くなったときが寿命です。新しい充電電池と取り替えてください。
- ❗ 長期使用しなかった場合は2〜3回充電を繰り返してからご使用ください。
- ❗ ショート（短絡）等しないように、安全のため携帯用ケースなど収納して保管や持ち運びをしてください。
- ☐ 直射日光が強いところ、炎天下の車内、火のそば、ストーブの前など高温な場所での使用や放置をしないでください。
- ❗ 初回使用時や長期保管ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。

リサイクルについて

● 充電式電池のリサイクルにご協力ください。



NI-MH

⚠ 警告

- ❗ 運搬時は収納されているケースの中身の充電電池が動かないようにしっかりと梱包してください。
破損や金属端子のショートの原因となります。

⚠ 注意

- ❗ リード線や金属端子部が露出したものは、ピンリープ等を取り付けて必ず絶縁してください。
ショートにより発火、発熱の原因となります。

お手入れについて

- 本体の汚れは、中性洗剤や水を含ませた布で落とし、乾いた布で拭き取ってください。

🔧

- シナナ、ペンジン、アルコールなど、発揮性の液体を使用すると変質や変色を起こす恐れがあります。

- 充電器の⊕、⊖接点や充電電池の端子がひどく汚れた場合は、綿棒などで軽く拭き取ってください。

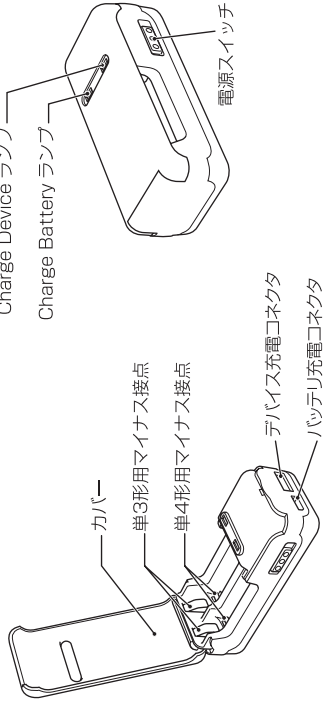
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。お使いになる前に、すべてが揃っているかを確認してください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

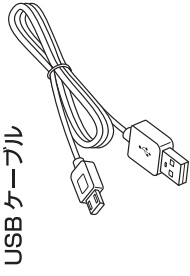
- 充電器（2本用 ※単3形、単4形 兼用）..... 1個
- ニッケル水素電池（単3形）..... 2本
- USB ケーブル（USB A オス ↔ micro B オス）（0.5m）..... 1本
- 取扱説明書（本書です）..... 1部

各部のなまえ

充電器



USB ケーブル



ニッケル水素電池（単3形）2本

